



水戸ホーリーホック

## 『GRASS ROOTS FARM』始動 1/2

茨城県は農業が盛んである一方で、農業従事者の高齢化が進み耕作放棄地も年々増えてきています。そうした課題とJリーグクラブを掛け合わせたときに、ファン・サポーターを巻き込んだ素晴らしいモノができると考え、農事業を始動することになりました。クラブハウスの『アツマーレ』がある城里町で、約1,000㎡の畑でニンニクの栽培をして、農業の魅力を伝えていきます!



活動場所 城里町上古内にある畑、島家住宅



協働者

企業、住民、行政

協働者名

城里町地域おこし協力隊 坂本さん  
 株式会社寺田製作所 鯉淵さん  
 城里町にお住いの盛田さん



協働者の声 城里町 地域おこし協力隊/坂本 裕二 氏



スタッフの方が土に触れて農仕事をする事で、町の中でも話題になり「GRASS ROOTS FARM」への注目度が上がっています! ゆくゆくは城里町の名産とコラボレーションなどができればと考えており、新たな価値を生み出せると思っています。

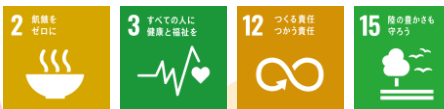


活動詳細情報

- 1 [公式サイト①](#)
- 2 [プロジェクト公式Twitter](#)
- 3 [公式サイト②](#)
- 4 [サッカーキングチャレンアウォーズ記事](#)



カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ





水戸ホーリーホック

## 『GRASS ROOTS FARM』始動 2/2

## Story

茨城県は、平坦で広大な農地が多く、水資源も豊富で農業が盛んな地域として知られております。その一方で農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地も年々増えてきている課題があります。そのような課題を解決するために、地域に根差して活動をしている我々は「農業」の魅力を広く伝える責任があります。

そうした背景から、水戸ホーリーホックは2021年より城里町にある約1,000㎡の畑で「ニンニク」の栽培を始めました！発表会見では、城里町地域おこし協力隊の坂本さんをはじめとする城里町役場の皆様にご協力いただき国登録有形文化財『島家



住宅』にて、農業の雰囲気を感じながら実施いたしました。

## ◆「GRASS ROOTS FARM」の由来

自然とともに生きていく「農業」は人間の生き方の原点であると考え、まさしくクラブのブランドプロミスである「新しい原風景をこの街に」と一致することから「GRASS ROOTS FARM(原風景)」という言葉を用いました。

## ◆なぜニンニク？

あえて栽培の難易度が高いニンニクから始めて、その土壌づくりが成功すれば他の作物も育てていくことが可能と考えました。

## ◆畑のいま

担当者だけではなく、アカデミーコーチを含めたクラブスタッフ総出で、土壌づくりや種まき、草むしりをおこないました。

時にはトップチームの選手も練習後に加わり、一緒に汗をかきながらコミュニケーションをとることで、クラブ全体の団結力アップに繋がりました。



## ◆「GRASS ROOTS FARM」のこれから

ニンニクはもちろん、他の作物の栽培にも挑戦しスタジアムや道の駅、ECサイトなどでの販売を目指しております。また販売だけでなく、サポーターの皆様による農業体験や選手交流など「クラブだからこそ実現できる新たな価値を皆様にご提供いたします。

これからの「GRASS ROOTS FARM」にご注目ください！